

地震の原理

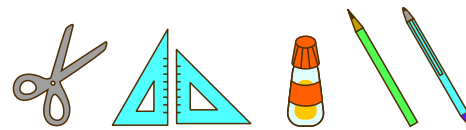
プレート境界型地震

地震とは、普段は固く密着している地下の地盤や岩盤が、一定の部分境界にして、急にずれ動くことです。また、それによって引き起こされる地面の振動のことをいいます。プレート境界型の地震は海洋型地震とも呼ばれ、異なるプレートの境界部分で発生します。これは、もぐり込もうとするプレートによって押し下げられた他方のプレートがひずみに耐えきれず跳ね返るために発生する地震で、地球の活動に大きな変化が無い限り一定のサイクルで繰り返されます。日本の場合、プレート境界のほとんどが海中にあるため海洋型地震と言われますが、関東地震や十勝沖地震などM8クラスの地震は全てこのタイプです。

作り方のコツ

- パーツを切り取る前に、各パーツの裏側にそれぞれのパーツ記号を記入されることをおすすめします。
(※切り取った後で、どのパーツか不明になることを避けるためです)
- のりづけの前に、山折り、谷折り部分に折りぐせをつけましょう。
- 部品は丁寧に、ゆっくりと時間をかけて切り取ってください。
- 使用済み（インクの出なくなった）ボールペンで折りケイの上を定規などを当ててなぞっておきますと、さらにシャープに折りやすくなります。
- 広い面をのりづけする際、あまりのりをつけすぎると水分で紙がゆがんでしまうことがあるので注意してください。
周囲に沿って少量ののりをつけるか、両面テープを使うことによって、ゆがみを最小限に押さえることができます。

使用する道具

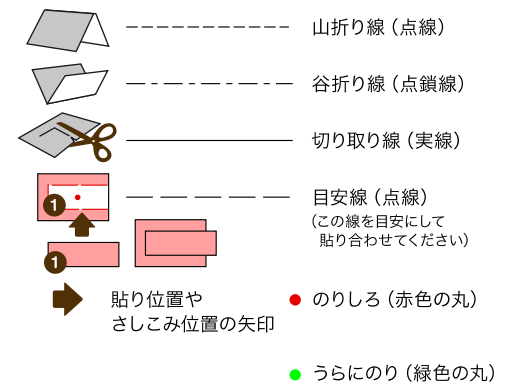


はさみ、三角定規、のり、えんぴつ、使用済みのボールペン

ご注意


- 組立説明書をよくお読みになり、組み立ててください。
- のりやはさみなど、幼児に危険と思われる道具や材料を使用しますので、幼児の手の届かないところで作業してください。

記号の説明

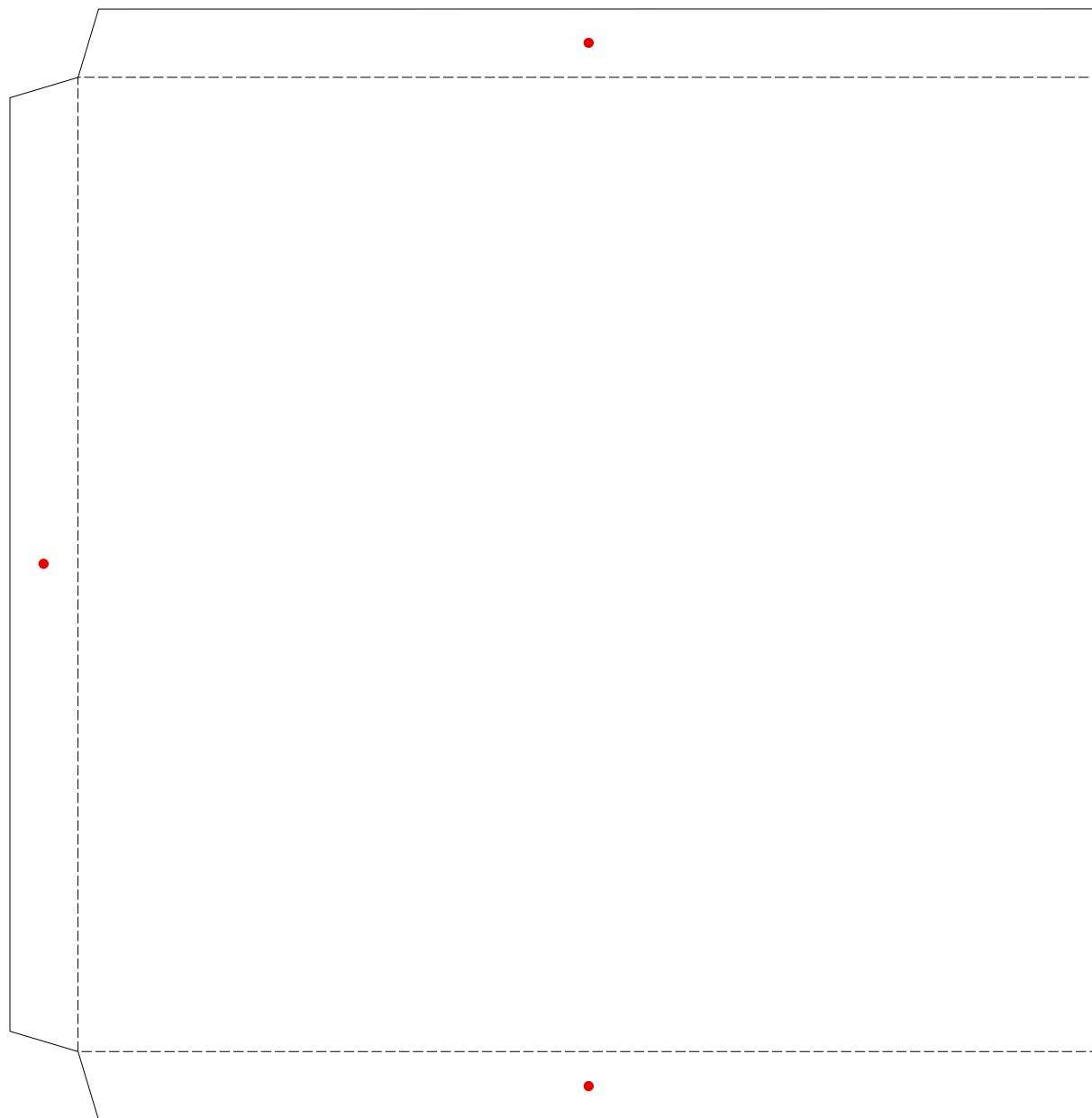


※以下、【組立説明書】の中の（組み立て方）で使用

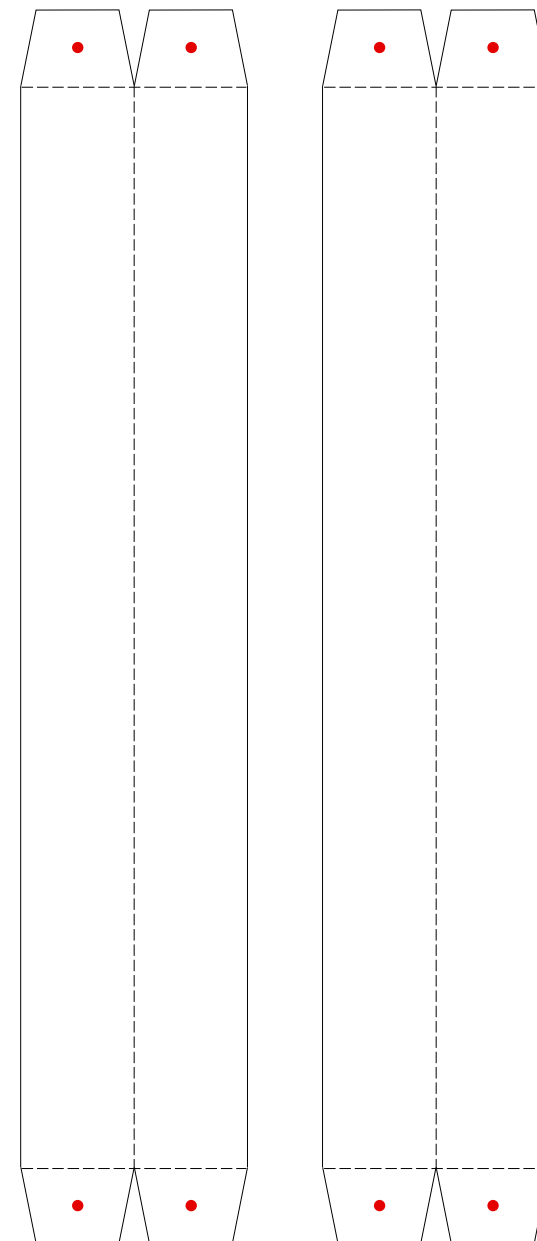
組立部品 A4サイズ/16枚 (1 ~ 16)

 紙の裏側を表しています。

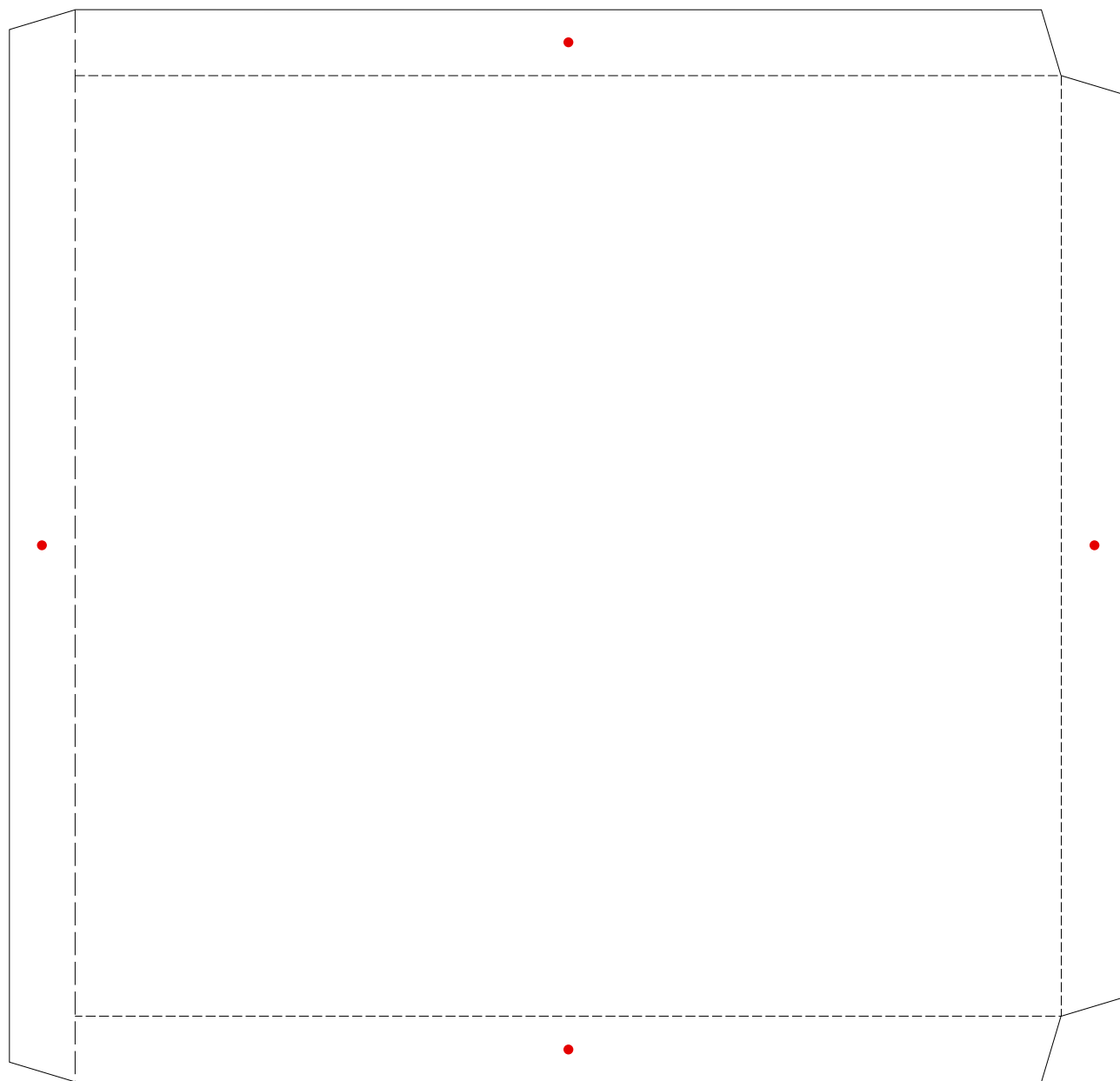
本体



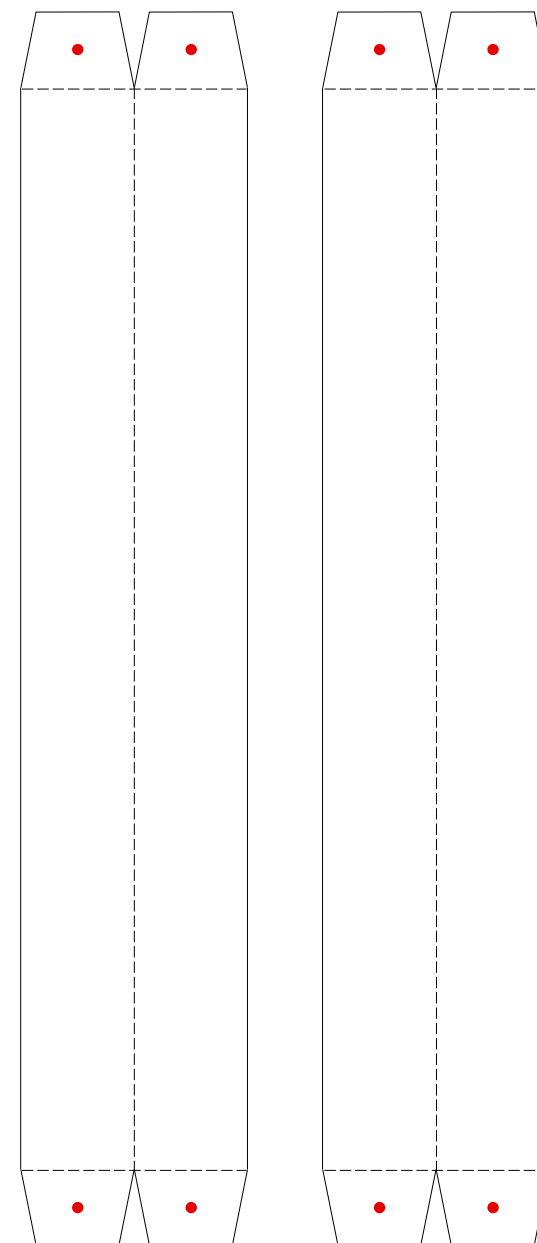
補強パーツ



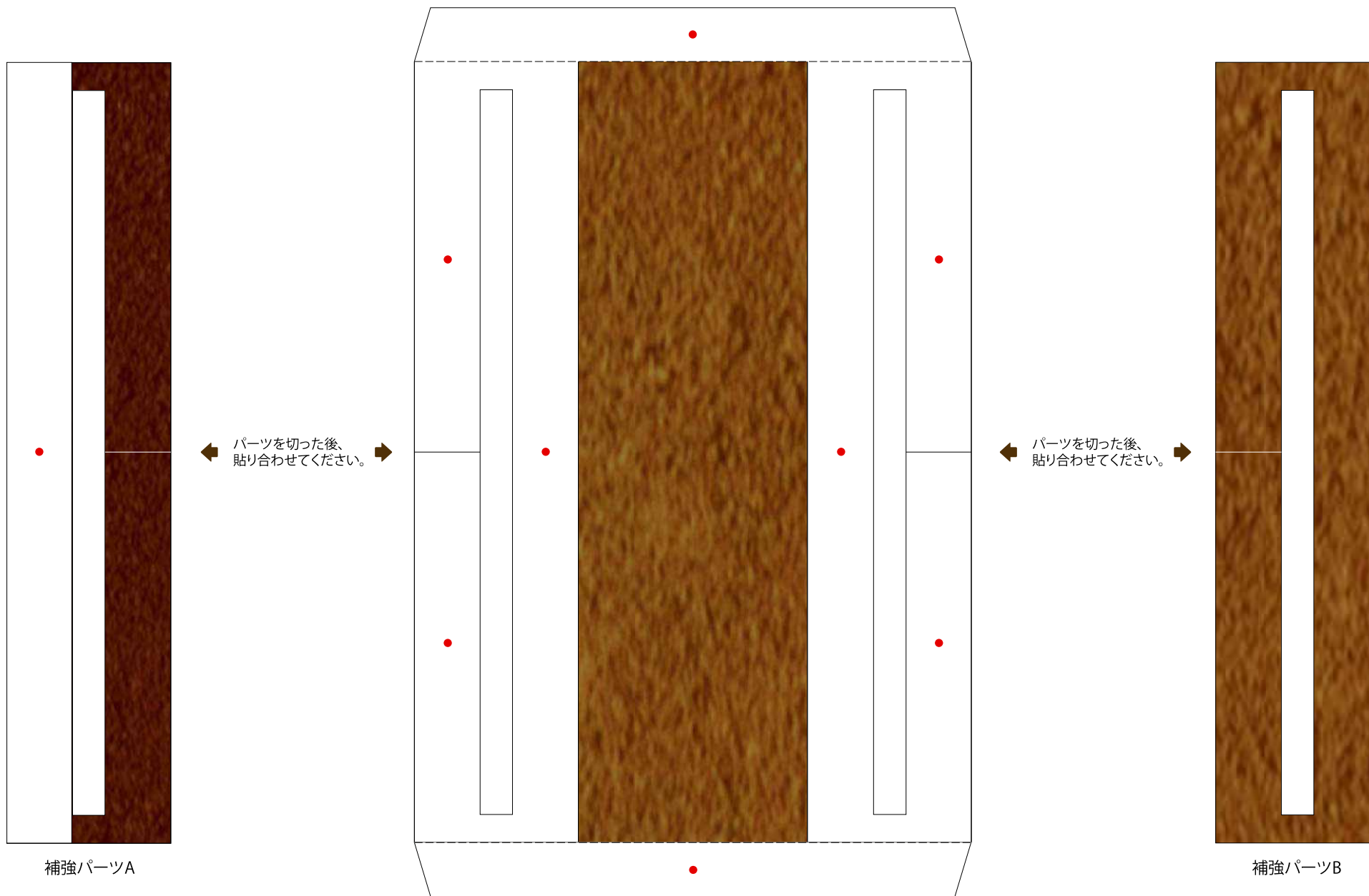
本体



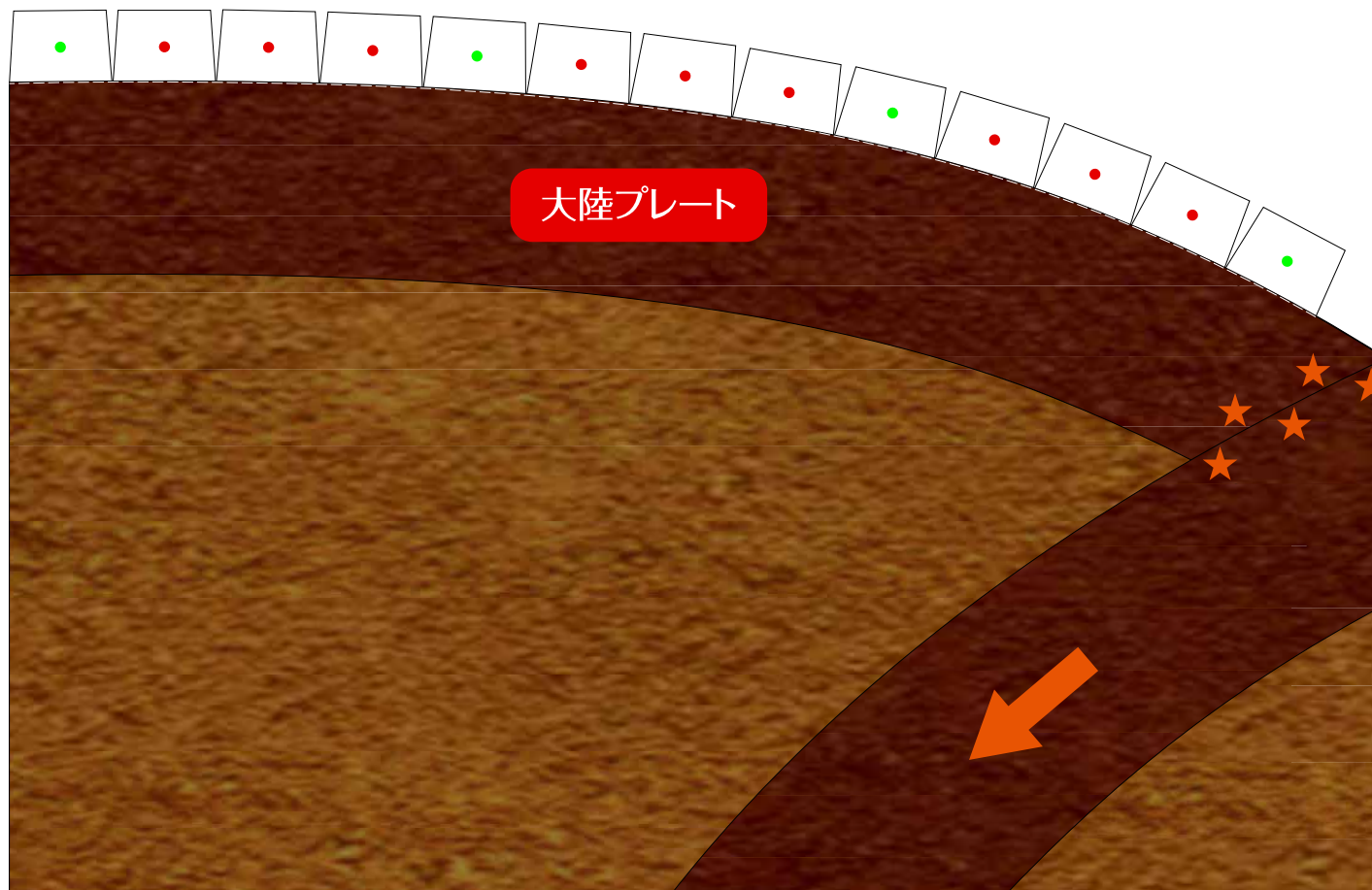
補強パーツ



本体



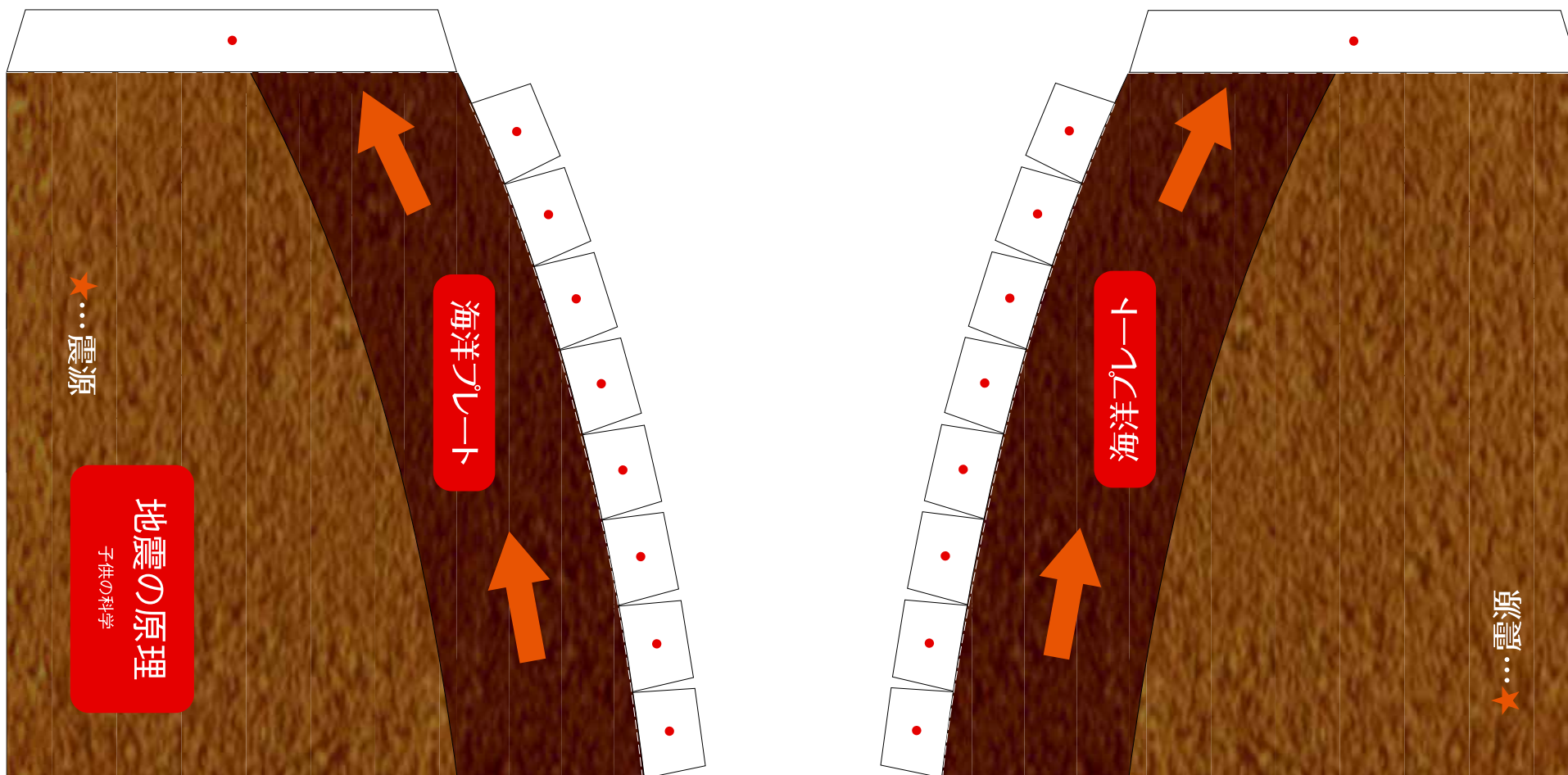
本体



本体



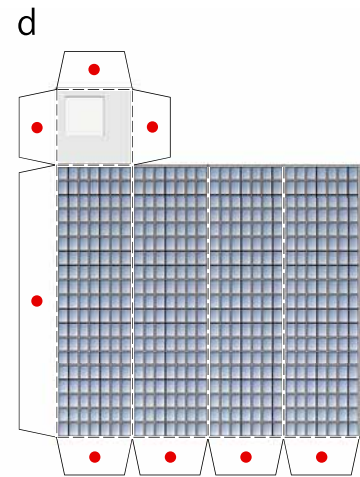
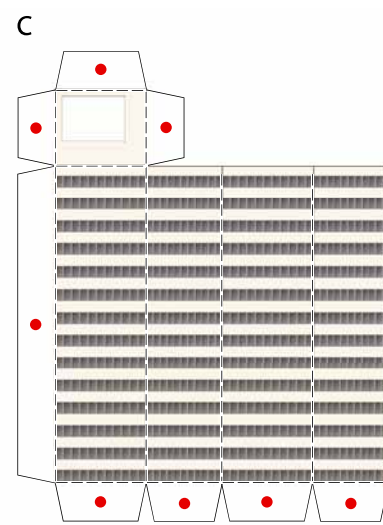
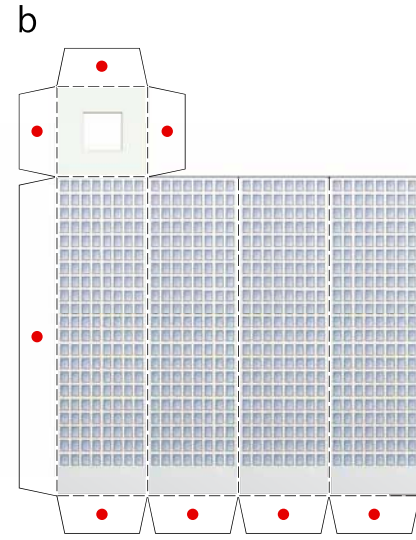
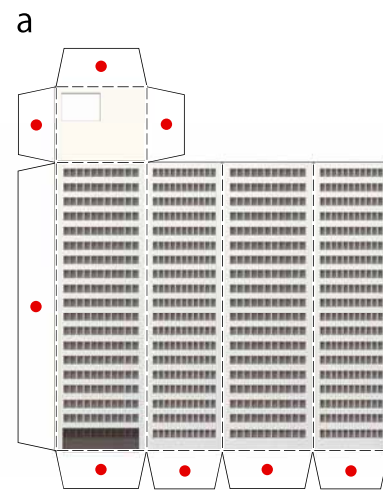
本体



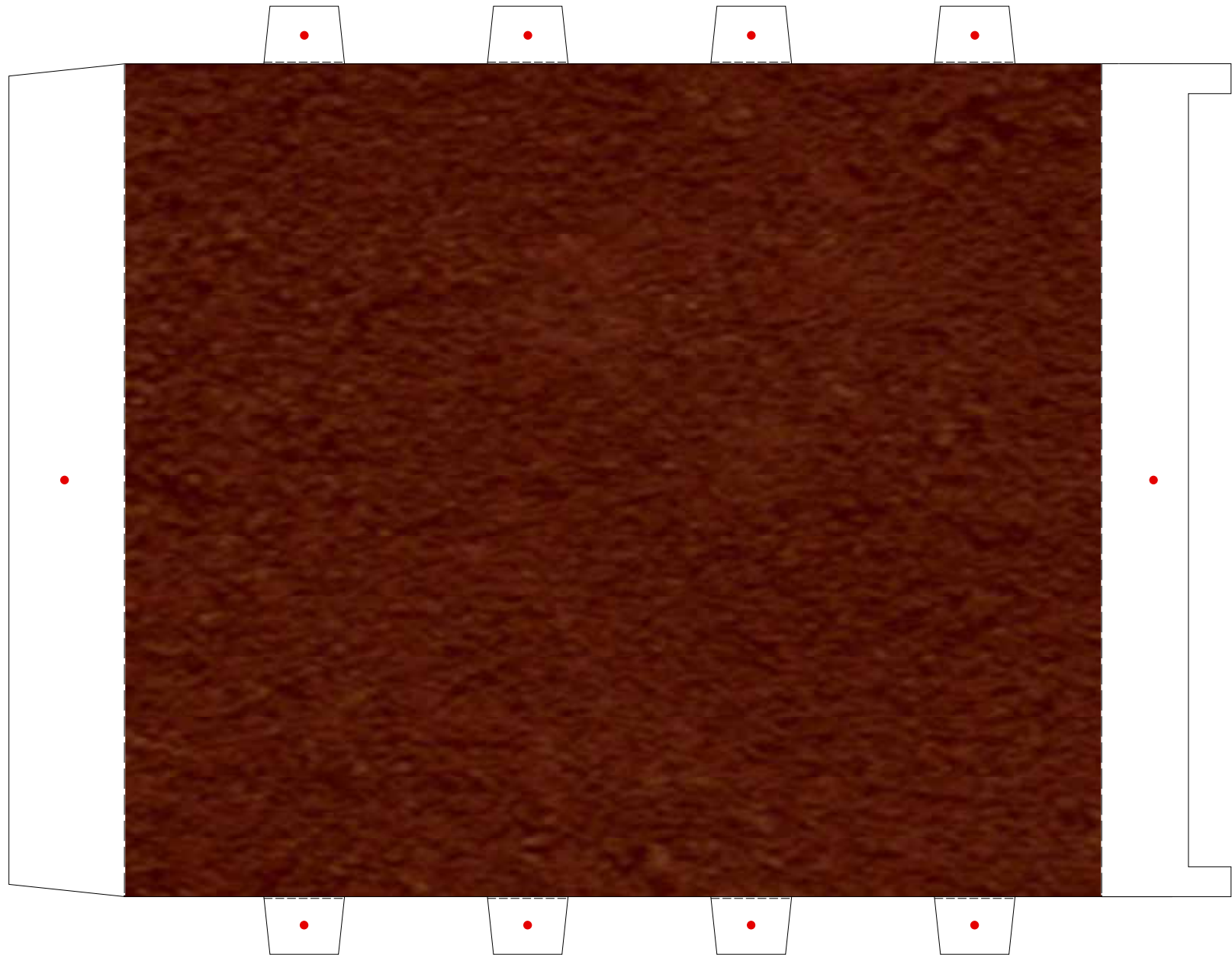
本体



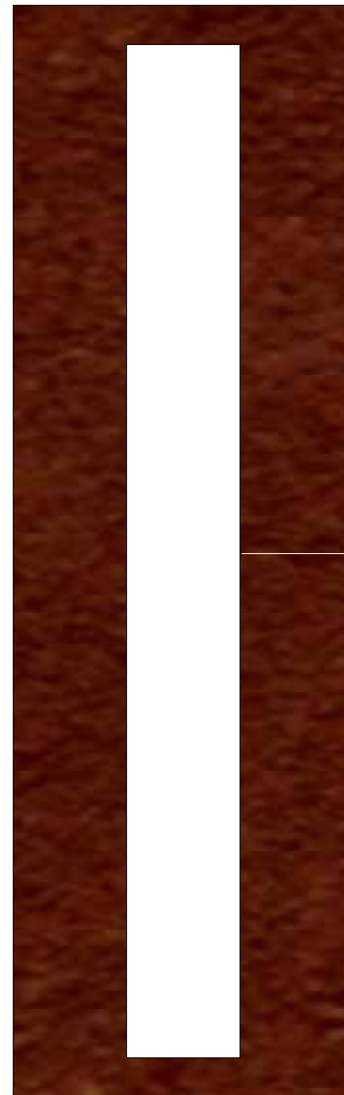
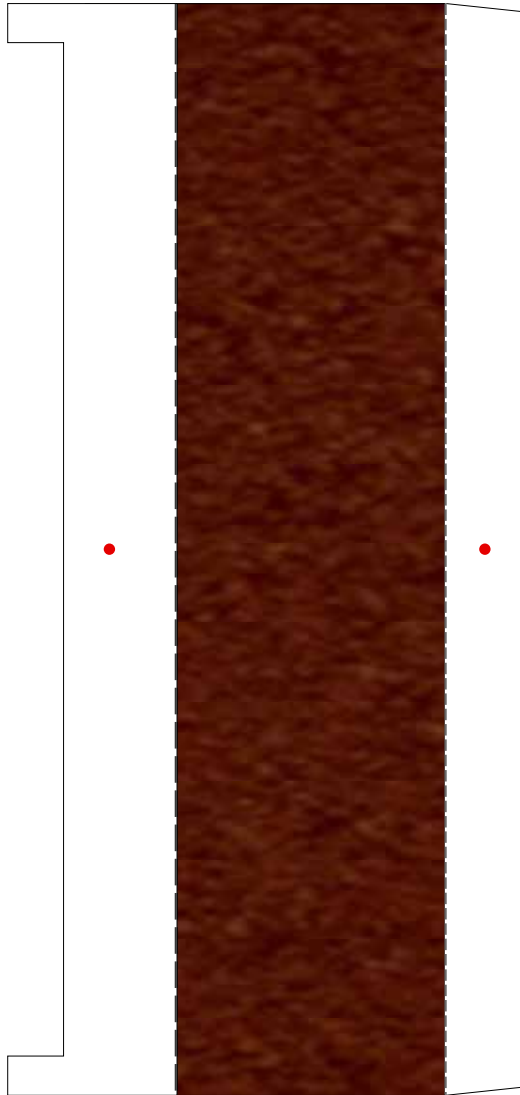
ビル



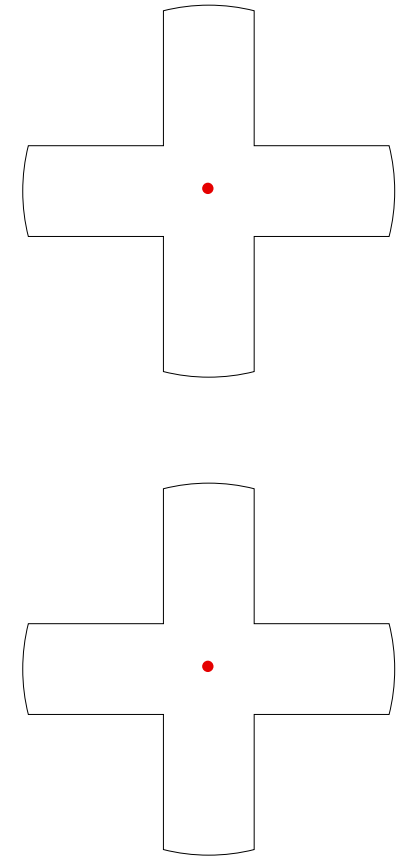
海洋プレート(固定部)



海洋プレート(固定部)

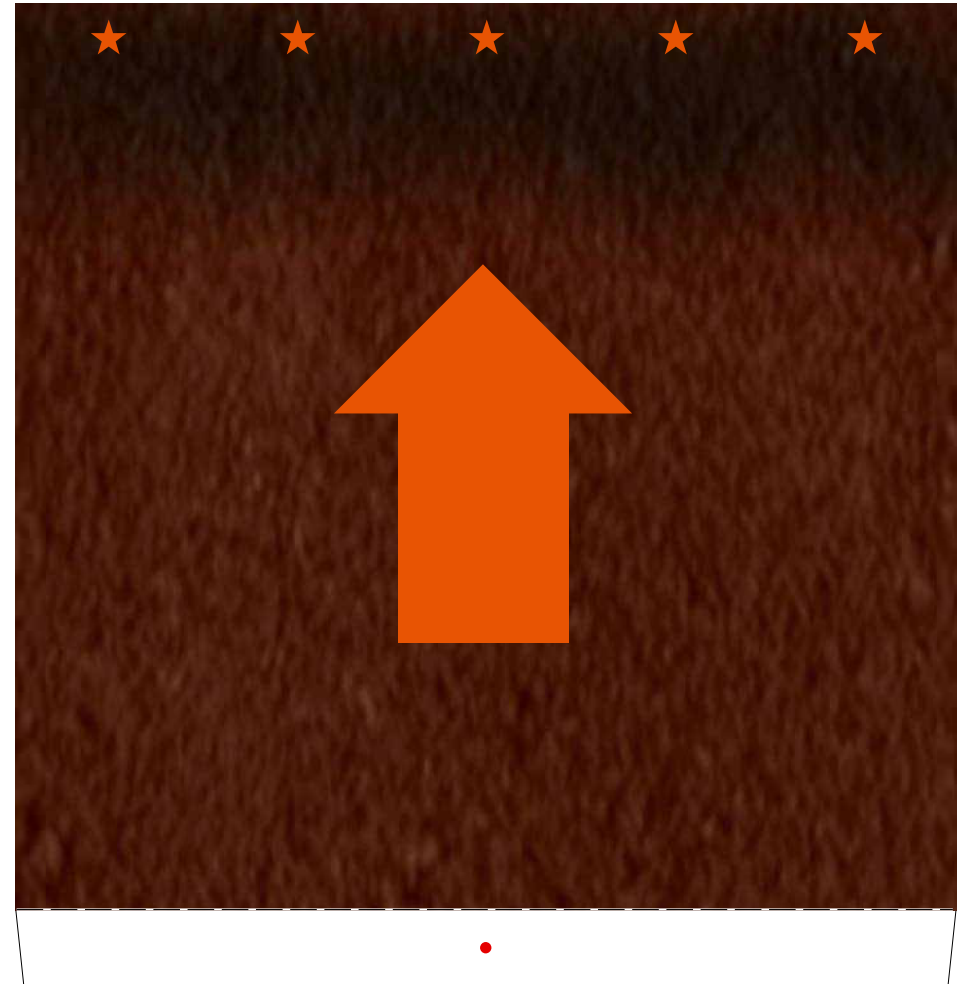
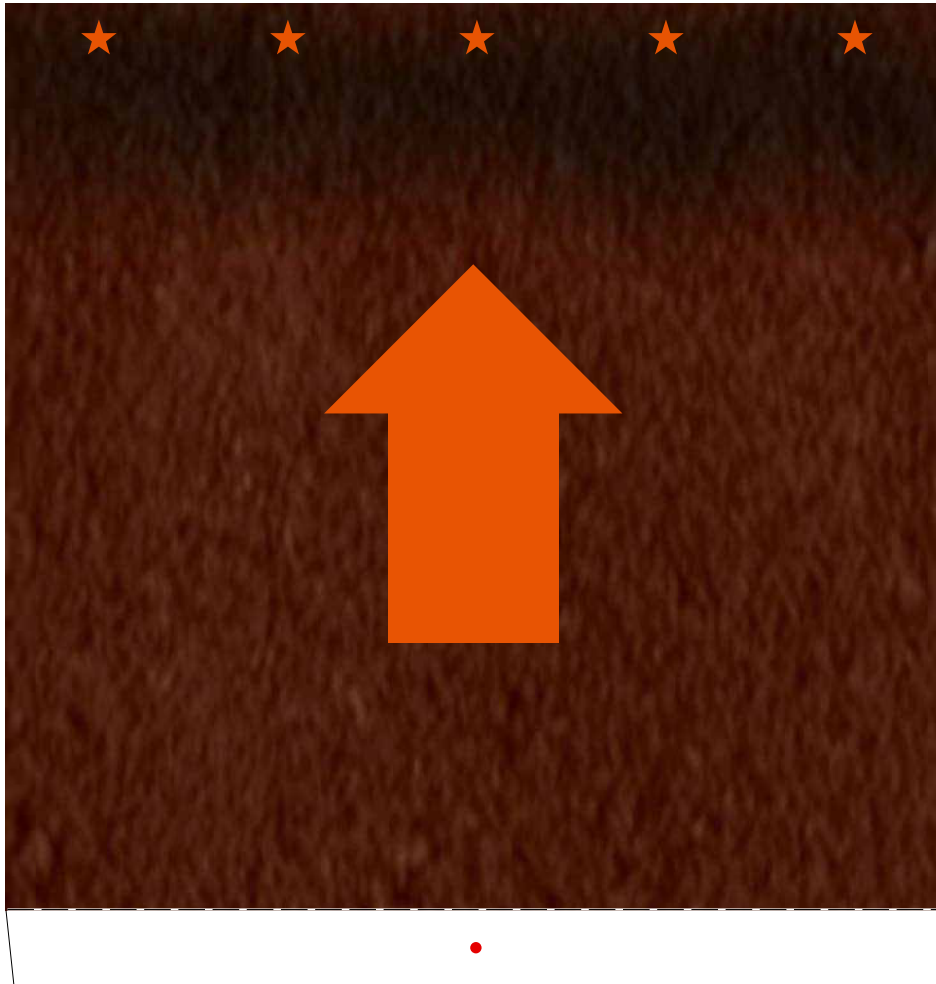


補強パーツD



補強パーツE

海洋プレート(可動部)



海洋プレート(可動部)



大陸プレート



折り目を付けた後、
裏面どうしを貼り
合わせてください。



補強パーツ

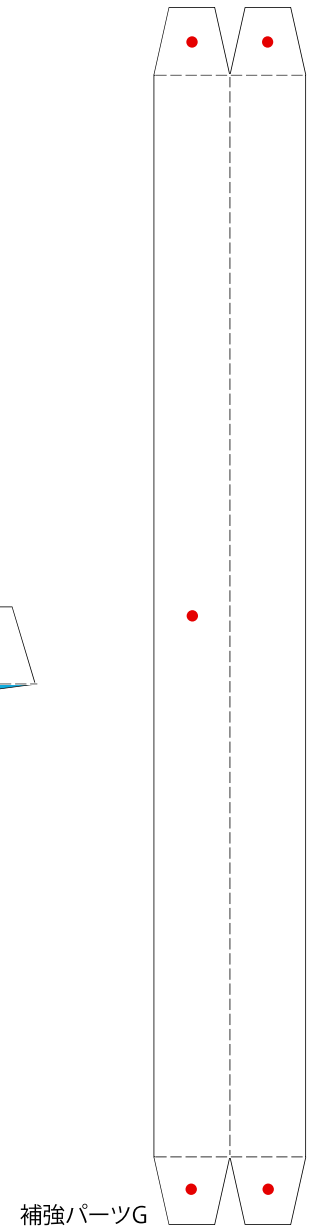
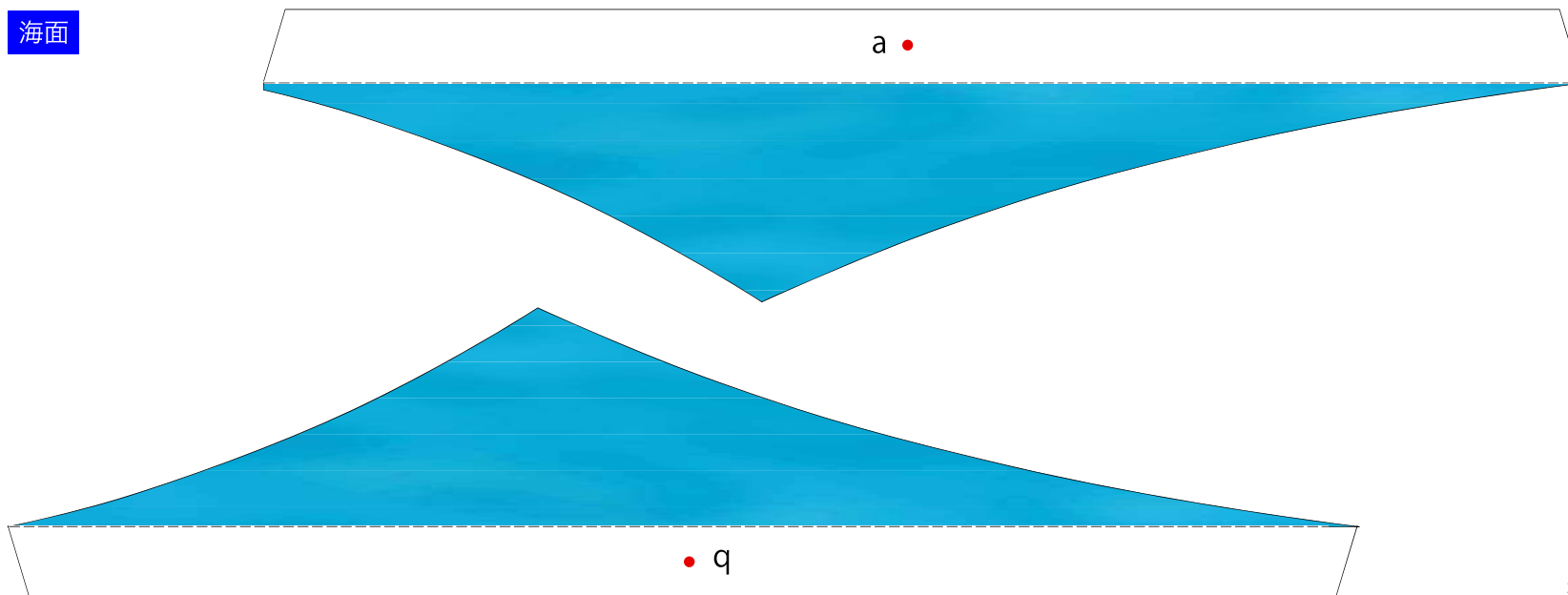
大陸プレート



大陸プレート



海面



海面

